



栃木市立大平東小学校
学校だより 第5号
令和7年9月5日
校長 新村 真



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

はきものをそろえる 世界一かんたんな成功法則 (本のタイトル)

8月29日（金）夏休み最終日の職員会議。議題の一つに「2学期の学校経営方針」というものがあります。校長が教職員に2学期の方針について話をします。

9月1日（月）始業式。校長講話があり、校長が全校児童に話をします。

9月2日（火）この学校だよりを書いています。主な読者は、保護者、地域の方々となります。

この3つを同じテーマにすれば、教職員・児童・保護者・地域の方々に、より効果的に校長の考えが伝わるのではないかと思いをめぐらせました。

さて、その内容をどうするか。あれもこれもでなく、一つにしほろう。抽象的でなく具体的にしよう。目に見えて、行動を伴うものにしようということで、「トイレのスリッパをそろえる」にしました。

何だそんなことかと思われるかもしれません、本のタイトルにもあるように「はきものをそろえることは世界一かんたんな成功法則」なのです。なぜ、はきものをそろえることが成功に結び付くのかについてはここでは割愛させていただきます。

学校のトイレでは上履きを脱いで、スリッパに履き替えることになっています。1学期の反省で教職員から「トイレのスリッパについては継続的に指導が必要」という意見が出されたこともあり、職員会議では次のような話をしました。

【職員会議の資料から一部抜粋】

トイレのスリッパをそろえる習慣を身に付けさせる。

森信三先生が提唱された「躾の三か条」（①あいさつ②返事③はきものをそらえる）の一つ。

始業式の校長の話もこのこと1点にする。

トイレのスリッパの脱ぎ方（回れ右をして後ろ向きに脱ぐこと、手でそろえること等）を教え、全員にやらせる等、具体的な指導をお願いしたい。

始業式の校長講話でトイレのスリッパについて話した内容について簡単にご紹介いたします。

「今日から2学期が始まります。ここにいる皆さんと先生方で、一人一人が成長し、さらによい学校になるようしていきましょう。そのため大切なことを今日は一つだけお話しします。

校長先生は、授業の様子を見て回っています。どのクラスもがんばっています。トイレの様子も見ることができます。さすがに大平東小、スリッパがそろっていることが多いのですが、このような時もありました。この写真を見て、分かったこと、気付いたこと、思ったことなどを近くの人と話し合ってごらん。」

「スリッパをそろえることが大切なのですが、AとB、どちらのそろえ方がよいのでしょうか。」

举手させて確認したところ、全員がAに手を挙げました。理由を



尋ねると、「次に使う人が使いやすいように」などと答えていました。多くの子が分かっているのです。

しかし、「分かる」と「できる」は違うのです。

「次の人が使いやすいようにという気遣い、相手への思いやりの表れです。皆さんには、ぜひ、この方法を身に付けてほしいのです。回れ右して、後ろ向きでスリッパを脱ぎ、手でそろえます。こうするときれにそろいます。他のスリッパもそろえるような人は、人として素晴らしい、尊敬します。」

次の日。「校長先生、子供たちが早速実践しています。」「どこのトイレもスリッパがきれいに並んでいます。」「クラスの子供たち一人一人にトイレで後ろ向きに脱いで手でそろえることを実際にやらせました。」などと先生方が教えてくれました。

ご家庭でも

さて、ご家庭の玄関でのお子さんの靴はどうでしょうか。ご家庭でも声掛けをお願いいたします。できたら大いに褒めてください。

いつでもどこでも、はきもをそらえることができるようになれば本物です。「身に付いた」と言えるでしょう。大人が見本を示し、やり方を教え、できたら褒めることを繰り返します。習慣化には100日かかると言われています。

学校と家庭で手をたずさえて、子供たちに人として大切なことを身に付けさせたいと切に願っています。

おやじの会の方々、ありがとうございました

8月4日（月）に、おやじの会の方々が、除草作業をしてくださいました。東山とその周辺、校庭の雑草が生い茂っている場所を草刈り機で作業してくださいました。猛暑の中、学校のために本当にありがとうございました。おやじの会の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。



◆6月に行われた「児童の安全を見守る意見交換会」に参加した自治会長から感想が寄せられましたのでご紹介いたします。

前略 「東山 第4号」を拝読。大多数の学校だよりは、「学年だよりの総集編」。総花的な編集に辟易している。総花的な学校だよりからは、学校の経営方針が具体的に伝わらない。現在の社会情勢や小学生を取り巻く環境を危惧している保護者にとって、今回の学校だよりにある「歩育」は「おっしゃるとおり。正鵠を射ている。」と感じているはず。改めて「有言実行」と「即応」に敬意を表します。

「東山」の熱狂的支持者より。

（メールアドレスが入力されていたので次のように返信）

【校長より】「学校だより」への感想・激励ありがとうございます。私の学校だよりに込めた思いを理解していただき、うれしく思います。今回の「歩育」は、会議でのご発言を学校だよりに反映させました。「学年だよりの総集編」という言葉、○○様ならではの的を射た言葉だと思います。保護者や地域の方に、校長の考え方や人間性などを感じてもらうことが大切なのだと思います。今回の書き込み、大変励みになります。ありがとうございました。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただけするとありがたいです。



トイレのスリッパの場合は、衛生面を考慮して、まずは、後ろ向きに脱いで、そろえられればよいと考えています。明確なルールはありませんが、訪問先の玄関で靴を脱ぐときには、前を向いて上がり、体の向きを変えてひざを折り、手で靴を180度回して隅に寄せる方法がよいとされています。

